

## 東大島接骨院鍼灸院

(株式会社 石原メディカルリトリート)

いし はら ち あき  
石原千明 代表



### 患者の痛みを取ることが大切

夕方の診療が始まるまでのひととき、早くインタビューに応じてくださった石原千明院長。まず、接骨院で大切にすることをうかがうと「人を助けたい。患者の痛みを取ることがをしっかりやっていきたい」と力強い答えが返ってきた。

来院するのは、様々な痛みを抱えた人たちだ。石原院長は痛みを「早く」取り除くことを心がけている。特に急性外傷にも対応し、来院が難しい人には往診も行う。まれに、接骨院では対応できない症状や病気の方が来られることがあるため、近隣のクリニックとも提携している。

当院のもうひとつの強みは、物理療法の一つ、除痛電気治療のために、特に効果が優れているとされる機器を取り入れていることだ。その評判を聞いた高校生・大学生、またプロスポーツの選手などのアスリートたちが、やや遠方からも訪れる。

### ママも通える接骨院

石原院長が当院を開設するにあたって打ち出した特色のひとつが「ママも通える接骨院」だ。保育士を常駐させ、専用のキッズルームを完備することで、院内で託児できるようにし、小さな子どもがいる女性が通いやすいようにした。

オープン翌年には、セルライト施術や骨盤ダイエットなどの美容痩身部門をスタート。こちらはやや年齢が高い層にニーズがある。子育て世代から40～50代までの女性の来院も多い。

### 体幹トレーニングによる、けが予防へ

2015年、現在地への移転を機に法人を立ち上げ、新しい取り組みを始めた。けがが治り、リハビリ

を終えても、体幹がしっかりしていないと転倒などで再びけがをしやすい。同じ来院なら痛みを抱えた状態より、けが予防のためがよい。

そのために、院内に体幹トレーニングのジムを設けることにした。目玉としたのは、当時日本では知られていなかった「レッドコード」を使用した体幹トレーニングだ。ノルウェー発祥で、天井から伸びたコード（紐）を利用して体幹をきたえる。ほかにも筋肉トレーニングのマシンも備え、治療からリハビリ、そして体のパフォーマンス向上によるけがの再発予防と、患者を長くサポートするようにメニューを展開する。理学療法士を雇用し、リハビリにも力を入れている。さらに、ドイツで理論化されたバイオレゾナンス療法を取り入れ、未病の段階で身体の問題点を見つけ、病気を予防する取り組みも行っている。

最後に、石原院長に経営に関する悩み等についてうかがうと、「悩みが出てくると、必ず助けてくれる人が現われる」との答え。石原院長ご自身も、必要とされる接骨院であり続けるために情報収集に努めているが、それだけではなく、診療した患者自身あるいは患者から紹介された人たちから助言や支援をいただいていたそうだ。患者に真摯に向き合った診療が石原院長の最大の経営資源となっている。

#### 企業情報

代表者プロフィール：30代・男性・西宮市育ち  
創業：2009年4月（2015年7月法人化）  
事業内容：接骨鍼灸、美容痩身、託児、体幹トレーニング

従業員数：9人

所在地：尼崎市大庄中通1-7-3

電話：06-6439-6730

ホームページ：<http://www.higashi-oshima.com/>